# 日本消防検定協会の役員（理事及び監事）の公募による選任について

平成２２年１月１３日
日 本 消 防 検 定 協 会

日本消防検定協会では、役員の公募を行い、選考委員会での選考を経て、以下の者を役員として選任し、総務大臣の認可を受けました。なお、三好氏については、公募による後任者が選任されるまでの暫定再任とされていたものが、引き続き任期まで務めることを可とされたものです。

また、その選任等の理由は、別紙のとおりです。

| 役職 | 現任者 | | | | 選任者 | | | 選考経過 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| | 氏名 | 年齢 | 当初就任年月日 | 前職 | 氏名 | 年齢 | 現(前)職 | |
| 理事 | 三好　勝則 | 56 | H19.4.20 | 総務省消防庁消防大学校長［OB］ | 同左（引き続き任期まで理事を務める） | | | 応募総数　３名<br>↓<br>書類選考・面接<br>↓<br>（最適任１名）<br>↓<br>理事会が選任<br>↓<br>総務大臣に協議 |
| 監事 | 八木　英太郎 | 59 | H15.4.1 | 総務省大臣官房付兼官房審議官［OB］ | 野口　裕之 | 57 | (株)高岳製作所ものつくり本部副本部長 | 応募総数　２名<br>↓<br>書類選考・面接<br>↓<br>（最適任１名）<br>↓<br>理事会が選任<br>↓<br>総務大臣に認可申請 |

※　［OB］とは、国家公務員ＯＢ該当者をいう。

【連絡先】日本消防検定協会
担当：総務部庶務課　細川、山田
電話：0422-44-7471
FAX：0422-44-3991

# 日本消防検定協会役員名簿新旧対照表

| 現任者 | | | | | | | 選任者 | | | 任命権者 | 発令日 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 役職 | 氏名 | 年齢 | 当初就任年月日 | 任期 | 任期満了年月日 | 前歴 | 氏名 | 年齢 | 前歴 | | |
| 理事長(常勤) | 木挽 孝紀 | 64 | H18.11.10 | 2 | H23.9.30 | 自治省自治大学校長<br>本州四国連絡橋公団理事<br>全国消防長会事務総長 | | | | 理事会 | |
| 理事(常勤) | 三好 勝則<br>H21.11.15より<br>暫定再任 | 56 | H19.4.20 | 2 | H23.11.14 | 総務省消防庁消防大学校長 | 同左(引き続き任期まで理事を務める) | | | 理事会 | (H21.11.15) |
| 理事(常勤) | 小林 輝幸 | 59 | H21.7.16 | 2 | H22.1.17 | 東京消防庁消防総監 | 同左(再任) | | | 理事会 | H22.1.18 |
| 理事(非常勤) | 青山 佳世 | 50 | H19.4.11 | 2 | H23.4.10 | フリーアナウンサー(現職) | | | | 理事会 | |
| 〃 | 志鎌 敬 | 59 | H20.1.1 | 2 | H23.12.31 | 日本損害保険協会常務理事(現職) | | | | 理事会 | |
| 〃 | 関根 和喜 | 67 | H19.9.1 | 2 | H23.8.31 | 横浜国立大学 特任教授(現職) | | | | 理事会 | |
| 〃 | 白谷 祐二 | 64 | H21.1.27 | 2 | H23.1.26 | 東京防災指導協会理事長(現職) | | | | 理事会 | |
| 〃 | 橋本 巨 | 58 | H15.5.1 | 2 | H23.1.26 | 東海大学工学部機械工学科教授(現職) | | | | 理事会 | |
| 〃 | 吉岡 伸子 | 69 | H21.8.25 | 2 | H23.4.10 | 岡山県婦人防火クラブ連絡協議会会長(現職) | | | | 理事会 | |
| 監事(常勤) | 八木英太郎<br>H21.11.13より<br>暫定再任 | 58 | H15.4.1 | 2 | H23.11.12 | 総務省大臣官房付兼官房審議官 | 野口 裕之 | 57 | (株)高岳製作所<br>ものつくり本部<br>副本部長 | 理事会 | H22.1.13 |

# 日本消防検定協会理事　選任理由

当協会の使命は、消防用機械器具等に関する型式試験、個別検定、鑑定等を実施するとともに、これらに関する調査、研究等を実施することにある。

そうした組織にあって、本ポストには、そのミッションとして、経営全般について理事長を補佐する理事として、約１００名の組織を管理するとともに、主として総務部の業務（財務、会計、人事等）を総括する担当として、円滑かつ着実な業務管理ができることが求められる。

本件公募に対しては、３人の応募があり、当協会の役員選考委員会で、応募者全員に対し、履歴書及び自己アピール文書並びに面接を実施し、三好勝則氏が最適任と認められ、当協会の理事会では、役員選考委員会の役員選考結果及び意見を尊重し、同氏を理事として選任（引き続き任期まで務めることと）したところである。その後、総務大臣から、同氏を理事として引き続き任期まで務めることにつき可とされたところである。

選任理由は、選考委員会による履歴書及び自己アピール文書並びに面接において、①経験・能力等に関する評価、②業務に対する理解度等に関する評価、③動機・性格等に関する評価、いずれもが、他の応募者に比して抜きんでており、総合評価としても最適任とする委員が最多となっていることなどから、人格、見識ともに協会の理事として申し分ないと認められたことによるものである。

# 日本消防検定協会監事　選任理由

当協会の使命は、消防用機械器具等に関する型式試験、個別検定、鑑定等を実施するとともに、これらに関する調査、研究等を実施することにある。

そうした組織にあって、本ポストには、そのミッションとして、当協会の業務の実施状況、財務・会計等の実施状況などについて監査を行うほか、監査の結果に基づき、理事長又は総務大臣に意見を提出することが求められる。

本件公募に対しては、２人の応募があり、当協会の役員選考委員会で、応募者全員に対し、履歴書及び自己アピール文書並びに面接を実施し、野口裕之氏が最適任と認められ、当協会の理事会では、役員選考委員会の役員選考結果及び意見を尊重し、同氏を選任したところである。その後、総務大臣に対して認可申請を行い、認可を受けたところである。

任命理由は、同氏が、選考委員会による履歴書及び自己アピール文書並びに面接において、①経験・能力等に関する評価、②業務に対する理解度等に関する評価が応募者中優位にあり（③動機、性格等に関する評価は同点）、総合評価においても優位にあること、また、企業会計基準等についての十分な知識を有するとともに、幅広い勤務経験を通じたバランス感覚にも優れていると認められることによるものである。

# 選考委員会の属性について

・日本消防検定協会

選考委員会のメンバーの属性は、以下のとおり

| | |
|---|---|
| ・大学教授 | ３名 |
| ・会社役員 | １名 |
| ・公認会計士・税理士 | １名 |
| 計 | ５名 |